

1	確 認 テ ス ト②	組	番	号	前			
						得	点	

1、次の傍線部の意味について適切なものを、後の選択肢の中から選び、それを利用して太字の部分を口語訳しなさい。(②×⑩)

①御方々の御宿直おとこまつりをなさなさておらおらせ給さへば、ただ涙にひれて明かし暮よらせ給さへば、見たてまつる人さく露あらわしき秋なり。 P287F 赤太

[ア たいやう イ おやめす ウ 全く ハ それほど]

②かの國の人来なば、猛き心使こころつかや人も、よやかひ。 P289F 赤太

[ア めつたに イ やはり ウ じょこむ ハ まさか]

③「誰かかかるい」ふをやく詰とひ知しらせけむ。『それ、やがむかし。』心詰こころらみなり。」心のたまふ。 P289F 赤太

[ア するな イ してくれぬな ウ しゃべくななあ ハ すくなんこ]

④おひ起おひしや、むち物ものかかるる。 P285F 赤太

[ア 無理むりに イ しきり ウ 責せめめ ハ ゃべる]

⑤いはけしきある所なめり。ゆめ寝ねぬ。れうがいのいふあるおに、あなかしい、ねぢえ騒さわがせ給さへた。 P287F

赤太

[ア めつたに イ やはり ウ 決して ハ 何なんかして]

次回も同じ範囲でやつあやー

(解答)

※大法書 P.115 も準則ノート P.40、41も確認しよう。

卷之三

1
確 認 テ ス ト ②
組
番 号
名 前
得 点

一、次の傍線部の意味として適当なものを、後の選択肢の中から選び、それを利用して太字の部分を口語訳しなさい。(2×5)

るやう。(2×5)

①御方々の御宿直なども
秋なり。 P287F 赤太

〔ア たいそう イ ますます ウ 全く ハ それほど〕

全くお命じにせうす。
(しなてらす)

(しなて)、うすく
来なば、猛き心使ふ

②かの國の人來なは 猛き心使ふ人も よもあらず。 p289 赤太
〔ア めつたに イ やはり ウ いよいよ ハ まさか、

まさかな、だろ？

③「誰かかかる」とをやく言ひ知らせけむ。『それ、さるせど』も語らひなら。」とのたまふ。

アシテくれた。アシテくれた。

卷之三

(ア) 無理に イ しつかり ウ 責めて エ すぐに]

無理に話しかけるのは

(物を言つたので)

赤太

決して眠るな

次回も同じ範囲でやります！

乙
單語

「すき」

二の段